小学校６年　社会科

都が移る理由

年　　組

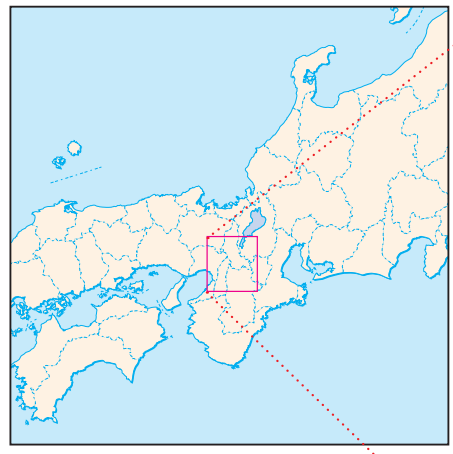
名前

794年以降，日本の都であった平安京（現在の京都）は1000年以上も栄えてきました。しかし，それ以前の奈良時代には，聖武天皇が平城京（現在の奈良）のほかにも，ひんぱんに都を移しました。なぜ，天皇は都を移したのでしょう。奈良時代の都の移り変わりと，都を移した理由を調べてみましょう。

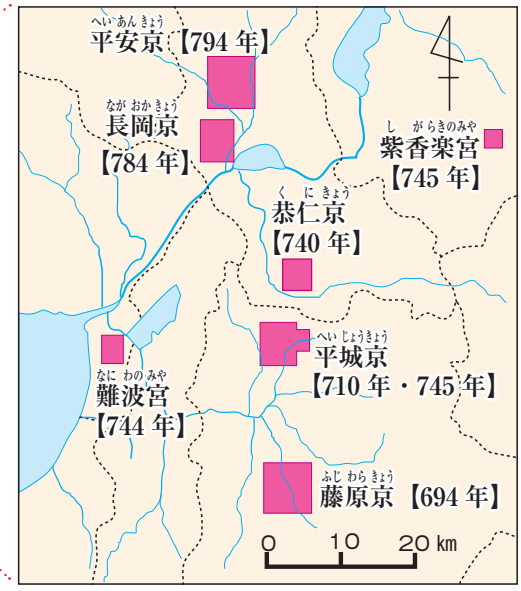
● 奈良時代の都の移り変わり

聖武天皇

東大寺 蔵



奈良時代・平安時代のころの都の場所



右の地図を見て，次の（　　）にあてはまる都の名前を書きましょう。

藤原京 → 奈良時代：平城京 → 恭仁京 → 難波宮 → 紫香楽宮 → （①　　）→（②　　）→ 平安時代：（③　　）

● 奈良時代の天皇が都を移した理由

●紫香楽宮から平城京へ

742年　聖武天皇は紫香楽宮に大仏をつくることを命じる。しかし，火事や地震などの災害が起こり，３年後の745年に，平城京にもどした。

●長岡京から平安京へ

785年　桓武天皇と親しい役人が建設中の長岡京の工事現場で亡くなり，数年後，天皇の母や妻が亡くなる。９年後の794年に，桓武天皇は都を平安京へ移した。

奈良時代，地震などの自然災害や，親しい人の死などは，「怨霊（亡くなった人のうらみ）」によって引き起こされると信じられていました。聖武天皇も桓武天皇も，怨霊のえいきょうを受けない土地で政治を行いたかったのです。

怨霊から都を守るために，都を移したなんて，今では考えられないね。

都が移された理由を調べることで，奈良時代の人々は，目に見えない力を信じていたことがわかりますね。